



モチツツジ [鵜躑躅]

5本の樹

常緑・半落葉 / 低木 / 木本植物 / 在来種



科名 ツツジ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

新芽や若い枝、萼(がく)、花柄などに腺毛が密生し、触るとベタベタするのでモチツツジ。中部地方から岡山県の太平洋側などに隔離分布する半落葉のツツジ。庭木としては、ヒラドツツジの一種として扱われ、配植や管理も同等。園芸品種に花弁が5裂する'花車'がある。



Memo

ツツジには春葉と夏葉があり、夏葉は夏に展開し冬を越すことが多い。そのため半落葉といわれる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸	花期				■								
🍒	果実	(花後にできる 蒴果(さくか)は花殻とともに除去する)											
🍂	紅葉												
🌱	施肥	■											
✂️	剪定						■ (花後早めに) ★★						
★: 花芽分化の時期 (分化後に剪定すると花付が少なくなる)													

好みの環境					
日当たり	陽	○	○	○	陰
土壌	乾		○		湿
寒さ	強	○			弱
暑さ	強	○			弱
潮風	強		○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○			○	○	

ポイント

ほかのヒラドツツジ同様に樹勢が強健なため、公園や共同住宅、マンションでよく利用される。浅根性(根の張り方が浅い)のため、充分灌水して根周りの乾燥に注意する。

剪定

常緑性のツツジ類は花の終わった直後に刈り込む。新梢の先に早くも翌年の花芽をつけるので、遅れると花が少なくなる。強い剪定や刈り込みは花後早目にして、以後は徒長枝の切り戻し程度が理想。

病虫害

夏の乾燥時にグンバイムシやハダニが発生する。駆除し充分灌水する。モチツツジには自衛策がある。新芽や花にべと付く腺毛があり、アブラムシやアリは寄り付かない。

呼べる鳥



[スズメ](#)・[メジロ](#)・[ウグイス](#)・[ツグミ](#)
[コゲラ](#)・[ヒレンジャク](#)・[オナガ](#)

呼べる蝶



[ヤクシマルリシジミ](#)